

(3) 「3つのエリア」の特性を生かす照明手法等

1)大阪城公園周辺

① エリアの夜間景観の特性

昼間と夜間の景観の特性

<昼間の景観 主要な視点場からみる、昼間の大阪城天守閣への眺め>

- 代表的な視点場からの大阪城天守閣への眺めは、大阪城公園の樹木の緑が前景となり、大阪城天守閣は、それらの緑の上に浮かぶように眺望できます。

<夜間の景観 主要な視点場からみる、ライトアップされた大阪城天守閣>

- 夜間における大阪城天守閣への眺めは、背景の夜間の空と同様に前景の緑も暗くなるため、ライトアップされた大阪城天守閣は、白く浮かび上がるように眺望されます。このように象徴的にライトアップされた大阪城天守閣への眺めを妨げないよう、前景や背景に見える建物や緑の適切な夜間景観の形成が必要です。

② エリアの魅力を高める照明手法

来訪者を迎える雰囲気づくり、活気やにぎわいと秩序との共存など、ランドマークを活かした夜間景観の創出に努める

ランドマークである大阪城天守閣を際立たせる配慮と併せて、大阪城天守閣へのアクセルルートとなるエリアでのライトアップにより、来訪者を迎える雰囲気づくりを行い、エリアとしての夜間景観の魅力を創出しましょう。

- 歩行者など人の身近な場所にある樹木などは、適切にライトアップすることで、季節感等の演出が可能です。



建物からの漏れ光などで周囲の植栽地を柔らかく照らす例



動線付近の樹木のライトアップの例※1



象徴的に動線を照らした例



ベンチの足元を照らすライトアップの例

※1は写真等の提供：大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

- あかりを連続的に配置して、ランドマークへの視線誘導や、動線などを強調することができます。



植栽の連続的なライトアップによって、誘導性を増した事例 ※2



鉛直方向のあかりを連続的に配置して象徴性を演出した例※1

※2は写真等の提供：光のまちづくり推進委員会

③ 夜間景観形成基準に関わる照明手法等

照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。

主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した配光や色温度により、大阪城天守閣を際立たせる夜間景観の形成に努める。

- 大阪城のライトアップのあかりは、白っぽく色温度が高いため、大阪城の天守閣の周囲に見える建物のファサードのあかりや前景に見えるあかりは、3000K（ケルビン）以下の色温度とし、大阪城のライトアップを際立たせるように配慮しましょう。

【関係する解説vi-22：⑨照明の色温度による演出】



©（公財）大阪観光局

- 主要な視点場からの眺めに配慮するため、大阪城天守閣の前景や背景に、建物や工作物などによる、強い光が見えないように配慮しましょう。



主要な視点場から眺める大阪城天守閣のライトアップのあかり

- 色温度に係わる解説

色温度は、太陽光や自然光、人工的な照明などの光源が発する光の色を表すための尺度で、単位はケルビン（K）です。白っぽい光の色ほど、色温度は高くなり、赤みを帯びた色ほど低くなります。

【関係する解説 vi-22：⑨照明の色温度による演出】



電球色（3000K以下）によるライトアップの例

主要な視点場からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップにより大阪城天守閣への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努める。

- 連続的なあかりの配置や、方向性を演出するライトアップ等により、ランドマークへの視線を誘導しましょう。



※1

あかりの連続配置やライトアップの高さを揃えることで、視線誘導している例

※1は写真等の提供：大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

主要な視点場からの眺めに配慮し、屋上の広告物やサインについて照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。

主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲に、広告物やサインを設置し照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。

- 大阪城天守閣への眺望範囲に見える屋外広告物の照明は、グレアを抑えるなど、際立たせない外照照明としましょう。また、切り文字を用いた間接照明も効果的です。



シンプルな切り文字の間接照明で広告を演出した例



建物高層部の広告物照明は、大阪城天守閣への眺望を妨げないように配慮しましょう

2)中之島等

① エリアの夜間景観の特性

昼間と夜間の景観の特性

〈昼間の景観 主要な視点場からみる、水辺のまちなみ〉

- 対岸や橋等の主要な視点場から水辺越しにみる沿川の建物群が水都大阪を印象づける景観を形成しています。また、水際や建物沿いに歩行者動線があるなど、人の身近な場所に水辺景観が面しています。

〈夜間の景観 水面に映る水辺のまちなみ〉

- 水辺越しに見られる沿川の建物の光や水際の光が、水辺に映し出されるのが特徴的な夜景です。夜間においても人の動きや界限性の感じるまちの光が見えてきます。水辺に面して見える建物や水辺の緑など、夜間景観の形成が必要です。

② エリアの魅力をも高める照明手法

魅力的な水辺のあかりをつなげる演出～水辺の印象的な顔づくり～

中之島においては、これまでの橋梁や護岸といった公共施設や近代建築のライトアップの取組により、魅力的な夜間景観が形成されています。また、船上からの視点場は、中之島の夜間景観の魅力語る上で、特徴的です。

「水辺、歩行者空間、建物」をつなげる、「建物と建物」をつなげる、そして、これまでの取組を将来につなげ、より一層、魅力的な水辺のあかりを創出しましょう。



◆ 水辺の界限性を創り出す夜間照明の工夫例



低層部のあかりや樹木のライトアップにより親近感を感じさせている例



建物ファサードのカラーライティングや室内のあかりを見せて賑わいを感じさせている例※1

※1は写真等の提供：大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

景観コラム 場所の魅力を磨きあげ シビックプライドを育む 夜間景観
～国際観光都市に求められる現代の夜間景観づくりとは～

【第8期_ (H26_)】大阪市都市景観委員会(デザイン) 長町 志穂(大阪大学大学院非常勤講師)

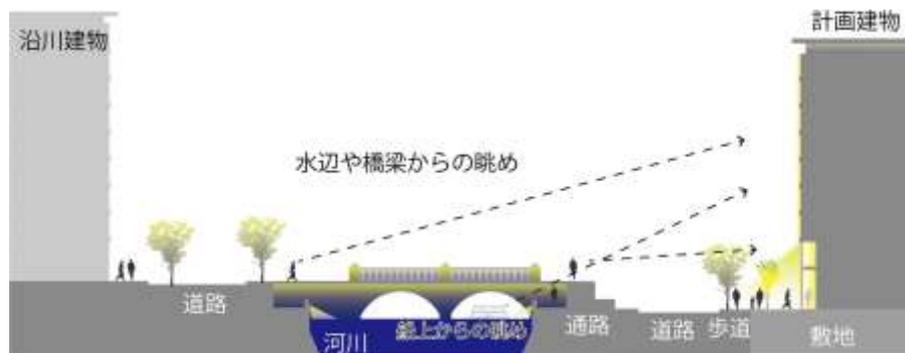
③ 夜間景観形成基準に関わる照明手法等

照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。

主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。

- 中之島等エリア周辺には、多くの歴史的建造物や高層建物等が建ち並ぶ特徴的なエリアであるとともに、都心の水辺であることから、多くの人の往来が水辺付近にはあります。こうしたエリアに建物等を建てる場合は、沿川や沿道の利用者に対して配慮するとともに、水辺の美しさが伝わるように外観ファサードや歩道等に面する部分への照明演出を行いましょう。

【関係する解説 vi-14：①建物のあかりの工夫】



- 低層部の開口部や漏れ光のあかりを見せることで、歩行者等が身近に感じるあかりの演出を行いましょう。



低層部のあかりを道路に向けて親近感を感じられるものとする例



間接光や漏れ光でパブリックな空間を照らす例

- 河川などの水辺に面して建物等を建てる場合は、水辺にあかりが映り込むように低層部のファサードのライトアップに配慮しましょう。
- ライトアップに際しては、間接照明を心掛け直接あかりが見えないように配慮しましょう。



低層部のファサードをライトアップする例



象徴的意匠をライトアップして水辺に映す例



低層部の店舗等のあかりで、水辺を照らす例

- 低層部のライトアップやもれ光をつなげていくことで、水辺や通りの賑わいを演出しましょう。

【関係する解説 vi-14 : ①建物のあかりの工夫】



低層部のファサードのライトアップを連続させた例※1



ファサードのライティングや低層部のもれ光で通りの賑わいを演出する例



低層部の間接照明を利用して通路をつなげる例

- 護岸や水辺を線的に照らすようにライトアップすることで、水辺の映り込みを強調することができます。

【関係する解説 vi-15 : ①建物のあかりの工夫】



護岸や樹木のライトアップによる水辺のライトアップの例※1



水辺の雁木をライトアップして、水際空間を演出している例※1

※1は写真等の提供：大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の部分について、主要な視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。

主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の屋上の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。

- 主要な視点場から見える屋外広告物の照明は、グレアを抑えるなど、際立たせない外照照明としましょう。また、切り文字を用いた間接照明も効果的です。



シンプルな切り文字の間接照明で広告を演出した例

3)ベイエリア

① エリアの夜間景観の特性

昼間と夜間の景観の特性

〈昼間の景観 主要な視点場からみる、港や海辺のまちなみへの眺め〉

- 主要な視点場から見る眺め対岸の眺めは、遠景のまちなみとして、建物等のスカイラインや六甲山系の山並みなどが見えるなど、海辺のパノラマ景として眺望できます。

〈夜間の景観 海に浮かぶように見える海辺のまちなみ〉

- 夜間における対岸のまちなみへの眺めは、光に照らされた高層建物や港湾施設等が海面に浮かび上がるように見えます。また、海面にはまちなみの光が投影されて見えてきます。このように、水辺と接するように見える海辺の夜間景観をよりよく見せるための夜景形成が必要です。

② エリアの魅力を高める照明手法

港らしい夜景を創り出すあかりの演出

埋め立てによる入り組んだ地形が特徴的な大阪市の港では、水面を挟んで対岸の夜景を望める視点場が存在することが特徴的です。

今後、大阪の魅力を世界に発信する絶好の機会を有したベイエリアでは、ますます港らしい大規模な建物をはじめ、水際の通路、緑地帯や港湾施設（ガントリークレーン等）のライトアップにより、港らしい夜景を創り出すことが望ましいと言えます。



◆ 港らしい夜景を創り出す夜間照明の工夫例



水辺の建物や歩行者空間のライトアップ例※1



水辺の建物の象徴的なライトアップ例※1

※1は写真等の提供：大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

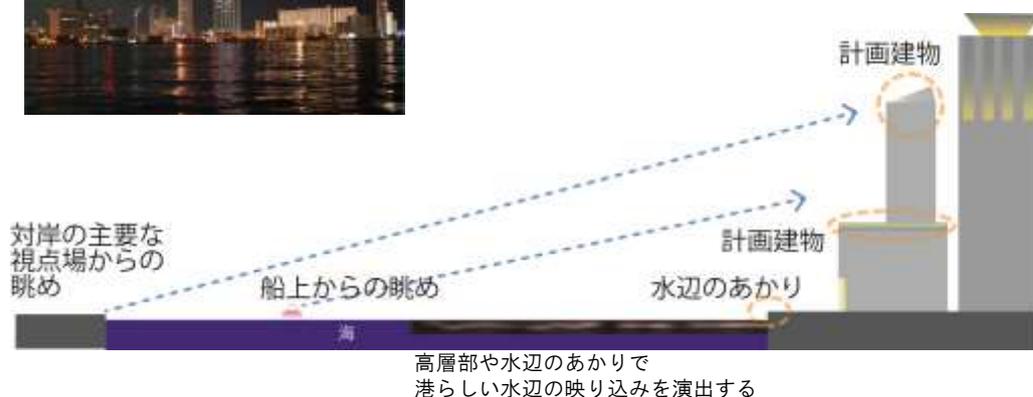
③ 夜間景観形成基準に関わる照明手法等

照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。

主要な視点場からの眺めに配慮し、ランドマークとなる大規模建築物などの良質なライティング、水面への映りこみに配慮した照明などにより、港に映える夜間景観の形成に努める。

- バイエリアの海辺に面して建物等を建てる場合は、対岸等主要な視点場からの眺めに配慮し、建物自身の存在感を演出する高層部の照明演出や水際をライトアップすることで、水面への映り込みに配慮しましょう。

【関係する解説 vi-15：①建物のあかりの工夫】



- ランドマークとなる高層建物などは、建物のシルエットや意匠等を美しくみせるために、高層部や頭頂部をライティングするなど、港に映えるライトアップをしましょう。



頭頂部のライトアップにより、建物の存在感を高める例

右：©（公財）大阪観光局

- バイエリアでは、海辺に面して臨港緑地等や水辺のパブリックスペースがあります。こうしたスペースに対して敷地や建物が面する場合は、水辺に近づけるように開口部や店舗等施設、広場等を配置するなど、水辺の付近の夜間形成に配慮しましょう。



水際に面して設けられた広場や店舗。店舗のあかりや広場のライトアップによりにぎわいを創り出している例



水辺の通路にそって設けられたライティングの例